

インドネシア：政策金利の据え置きを決定 据え置きは市場予想通り、通貨ルピアの安定を重視

インドネシア中央銀行（BI）は3月19日、政策金利の据え置きを決定しました。BIは会合後の声明で、今回の据え置きはインフレ目標の達成と通貨の安定により、経済成長を支えることを目指すものである、と説明しました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについてご説明します。

予想通りの政策金利据え置き インフレ目標達成と通貨ルピアの安定を重視

金融政策

- BIは3月19日、2日間（18～19日）の金融政策決定会合を終え、政策金利である7日物リバースレポ金利を5.75%のまま据え置くことを決定しました。今回の発表は市場の大半の予想通りとなりました。
- インドネシアでは1月に利下げを行った後、前回2月の金融政策決定会合でも政策金利を据え置いています。BIは通貨ルピアの安定のために為替介入を行っていることを強調しており、今回の据え置きも、ルピアの安定を重視した形となりました。

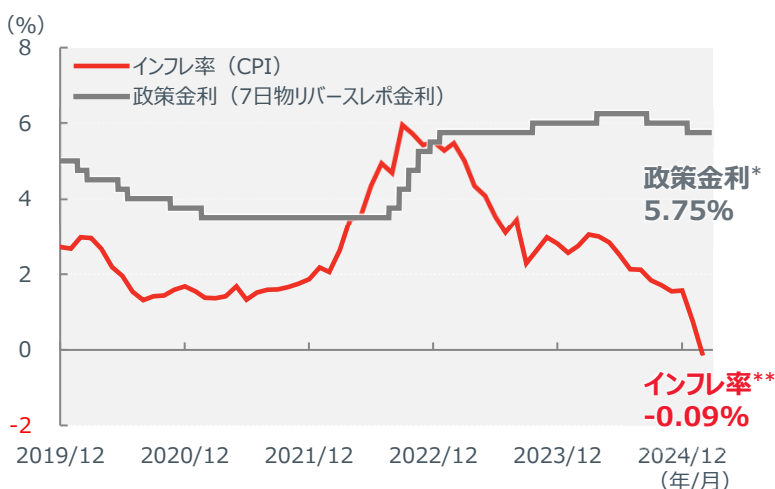
経済成長見通し

- BIはインドネシア経済の見通しについて、家計消費は依然として強いものの、さらに拡大の必要があると述べています。同様に民間投資についても、さらなる拡大が必要としていますが、2025年の経済成長率（前年比）が4.7～5.5%の予測範囲に収まるとの予測を維持しました。

インフレ動向

- 2025年2月の消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）は-0.09%と、およそ25年ぶりの下落となりました。政府が景気対策として行った電気料金の割引の影響が大きいと見られ、食品、エネルギーを除くコアインフレ率は2.48%の上昇となっています。
- BIはインフレ見通しについて、政策金利の一貫性により、BIの目標レンジ内（1.5%～3.5%）に収まるとの予想を示しています。

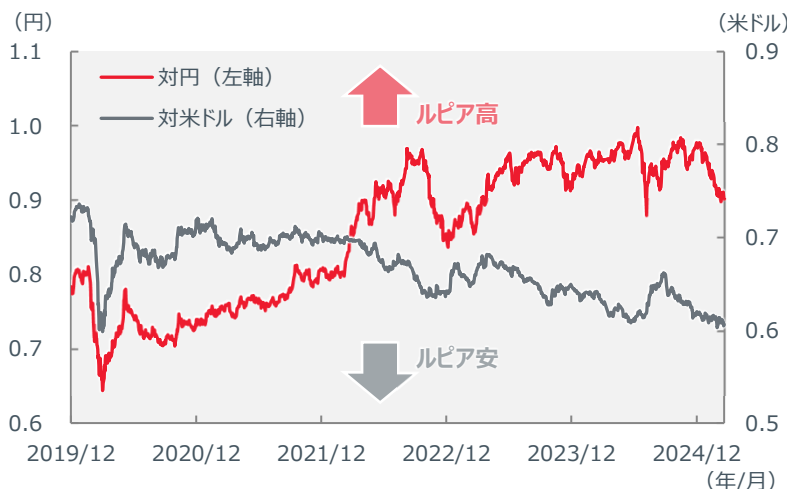
政策金利とインフレ率
政策金利*とインフレ率**の推移
(2019年12月31日～2025年3月20日)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
* 7日物リバースレポ金利。
** 消費者物価指数（CPI）上昇率。前年同月比。2025年2月まで。

為替

インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移
(2019年12月31日～2025年3月20日、日次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※ 対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

250321 (01)

(1/2)

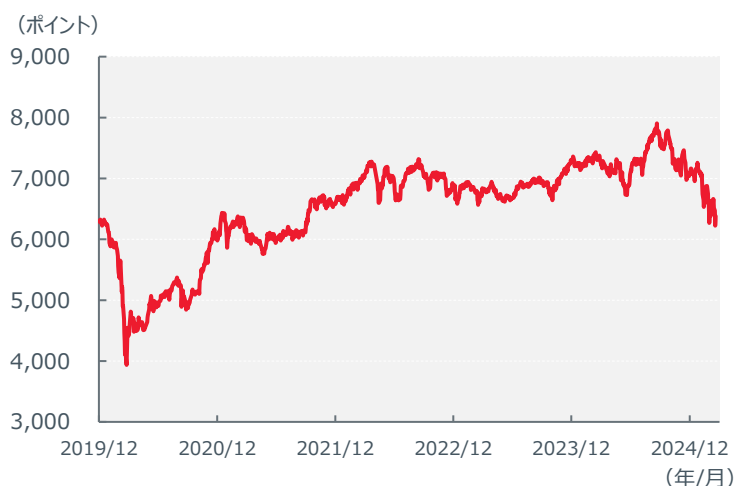
➤ 市場の反応と今後の見通し

- 市場では今回の金融政策決定会合における政策金利の据え置きが見込まれていたため、据え置き決定は市場の想定内となりました。発表当日の19日、翌20日の株式市場は連続して上昇（ジャカルタ総合指数はそれぞれ前日比+1.42%、+1.11%）、債券市場では長期国債の利回りは上昇（価格は低下）しました（10年国債利回りは前日比+6.7bps（+0.067%）、+1.5bps（+0.015%））。為替は対米ドル、対円ともに下落しました（18日～20日の変動率はそれぞれ-0.35%、-1.02%）。
- BIも将来的な利下げを示唆しており、インドネシアの政策金利は徐々に引き下げられるものと予想していますが、利下げのタイミングと利下げ幅は、通貨の動向、海外への資本流出圧力、グローバルでのリスクセンチメントなどによって大きく左右されることになると考えられます。
- 一方、インドネシアの長期的な見通しについては、BIが引き続き経済成長を支援する姿勢を示していることや、人口動態の有利性、健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに考えています。

株式

ジャカルタ総合指数の推移

（2019年12月30日～2025年3月20日、日次）

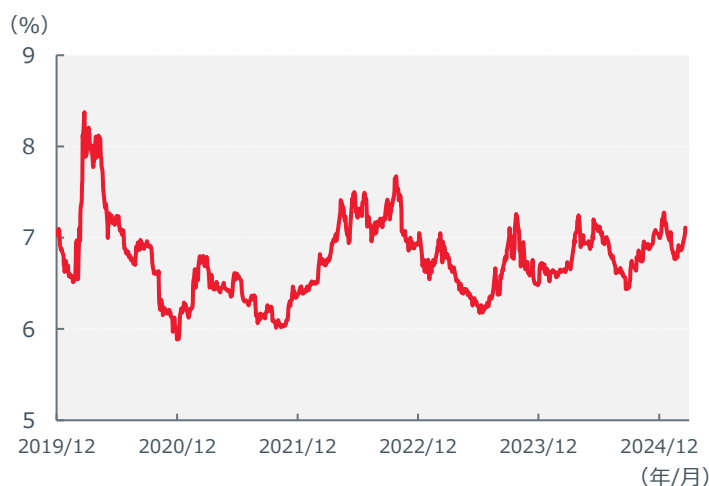


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券

インドネシア10年国債利回りの推移

（2019年12月31日～2025年3月20日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。